

地元の「美味しい」を知ろう



▲美味しいバターが出来ますように

3月18日、山本総合支所で「牛乳からバターづくり体験」が行われました。地産地消と食育の推進をはかる目的で農林課が実施したもので、根岸で酪農経営をしている細越真利雄さんを講師に、講話とバターづくり体験を行いました。

当日は町内から小学生とその家族など30名が参加し、スライドを交えた細越さんの牛乳づくりのお話に熱心に耳を傾けていました。

つづくバターづくり体験では、細越さんから提供された生乳をペットボトルに入れて一生懸命振ること20分、出来上がったバターを試食した子どもたちは「とても美味しい！」と地元の味覚を堪能していました。

世代を超えて 狙え！ホールインワン

3月29日、「あめふらんど」で、少年野球チーム「山本ビクトリーズ」(安田幸道監督)と体協グラウンドゴルフ部会(小山内豊樹会長)の皆さんが、グラウンドゴルフ交流会を行いました。

あめふらんどで練習をしている者同士、世代間交流をしようと安田監督と小山内会長が計画したもので、当日は30名の子どもたちが手ほどきを受けながら楽しみました。

はじめは、思い通りに転がってくれないボールに四苦八苦していた子どもたちも、すぐにコツをつかんだようで、ホールインワンも出るなど会場には大きな歓声が上がっていました。



▲狙え！ホールインワン

母・父への思いを手紙に託し

橋本五郎文庫運営委員会(小玉陽三会長)では、平成28年度に開催した第3回橋本五郎文庫賞作文コンクールの作品集「母・父への手紙」を発行しました。

町や五郎文庫を全国にアピールするとともに、家族の絆を考えてもらう機会にしてほしいと平成26年度から開催されたコンクールで、28年度は全国、海外から1071通が寄せられました。

作品集には橋本五郎さんの言葉がそえられた帯が付けられ、全国の図書館、学校などに約650冊を寄贈したほか、秋田・能代市内の書店などで購入ができます。

詳しくは橋本五郎文庫までお問い合わせください。(☎87-3177)



▲家族の絆を考えてもらう機会に

ひと針に心を込めて



▲手作りの雑巾を寄贈

4月17日、釜谷かもめ会(牧野トミ会長)から浜口小学校へ会員手づくりの雑巾120枚が

寄贈されました。

牧野会長はじめ荒川副会長、相澤副会長の3人から「学校の掃除に役立ててください。」と、児童代表の6年生の代表委員と環境委員長に手渡され、二人は「いつもありがとうございます。毎日の掃除で大切にします。より一層頑張って学校を綺麗にしたいです。」と受け取りました。

釜谷かもめ会の雑巾寄贈はボランティア活動の一環で、牧野会長はこれからも地域の学校などに寄贈し続けていきたいと話していました。